

常日頃、私ども峰岸商会をご利用頂きましてありがとうございます。
暑い夏が終わり秋本番と感じる今日ですが、仕事量の増減の動きが激しいように感じております。私どもも皆様のお力になれるよう会社全体で取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

さて、今回は**SNC (合金材)**についてご紹介したいと思います。
(上野原営業所 村松・山田)

<編集者>

塚原 佳由
望月 博隆
村松 貴
赤木 健三
山田 幸平

鋼種 Q & A

～ SNC材について ～

●**SNC**とは・・・構造用合金鋼で、JIS規格（日本工業規格）での呼び名となります。**S⇒スチール N⇒ニッケル C⇒クロム**の頭文字より**SNC**となります。

SNCは鉄に、炭素(C) 0.12~0.4%・ニッケル1.0~3.5%・クロム0.2~1.0%を含ませた合金鋼になります。ニッケルを入れる事により材料を粘り強くし、クロムを入れる事により焼入性を向上させていきます。そのため、耐食性や耐摩耗性に優れている合金鋼になります。ニッケル、クロムなどを含む鋼材のため比較的高価な材料としても知られています。昔は、砲身などに良く使われていたようですが、近年では車軸・シャフト・ピストンピン・クランクシャフト・ギヤーなどに多く使用されています。

SCMやSNCMなどが発達するまでは合金鋼の主流として使用されていた合金鋼になります。

【SNCの種類】

種類	炭素量
SNC236	0.32~0.40
SNC415	0.12~0.18
SNC631	0.27~0.35
SNC815	0.12~0.18
SNC836	0.32~0.40

【新旧対照表】

1950年	1965年	1979年
SNC1	SNC1	SNC236
SNC2	SNC2	SNC631
SNC3	SNC3	SNC836
SH80A	SNC21	SNC415
SH100	SNC22	SNC815

- ・炭素量⇒末尾2ケタは炭素の含有量を表しています。
- ・SNC000⇒3ケタある内の初めの数字は合金番号を表しています。
- ・計5種のSNC材があります。

(赤字が当社取扱い製品です。)

県内の動



●国中エリア●

9月に入り国中地区の状況は先月と変わりないスタートでしたが、中ごろから少しずつ落ち着いてきているように感じます。半導体、車関係、医療機器等の状況は相変わらず好調ですが、組立が追いつかないようで、部品製造がストップしているラインもあるみたいです。

10月、11月と仕事量は極端に減る事はないようですが、波の上下は出てくると思います。来年1月には、ステンレスと特殊鋼の値上げ要請がメーカーから来ております。(自社ではお断りしていますが・・・)。価格面での競争も鋼材卸、加工会社、後処理会社と非常に厳しい状況下にあります。私共も出来る限りのご協力をさせて頂きたいと思っておりますので、困り事などございましたらお気軽にご相談下さい。

●郡内エリア●

8月のお盆明け以降、受注が日を追うごとに減っていくのが分かりました。忙しいお客様も減少しており9月中旬まで非常に厳しい状況でした。内容としては仕事量が減っているのと、従来の仕事が止まっている、といった感じです。仕事のあるお客様では、公差が厳しい等、かなり面倒な仕事があるとおっしゃってありました。金融機関も製造業・非製造業の景気が減速していると認識しているそうです。10月からはアルミが上がり、ニッケル、クロムも高騰しております。SUSも時間の問題かと。工作機械メーカーは、あまり減速感がないようです。半導体関係ではT社関係で勢いがあまりないそうです。12月に向けて忙しくなると情報がありました。自動車関連では減速がでてきています。今後も皆様のお力になれるように頑張りたいと思います。

●上野原エリア●

8月の大型連休以降動きが良くない様に感じ、9月に入り仕事量が増えてくるかと思いましたが、8月と同様変わらないように感じました。9月決算の会社も多く、発注や在庫を減らしているとの話も聞いており、8月~9月は全体的に20~30%の減少気味になっています。また、東京・埼玉・神奈川方面も8月以降、急激な増にはなっていないのが現状です。しかし半導体やエコー関係は良い動きをしているようです。年内中は、多少の増減は有るものの、「安定して行きそう」とのお話も聞いています。新規立上げが少ないとの話も出ていますのでしっかり情報を集めて10月からの動きに期待したいと思います。

★社長のワンポイント★

毎日の温度が少しずつ下がって、いよいよ冬に向かっての秋の気配が感じられるようになりました。稲刈り始まりましたね。さて、季節は変化していますが山梨の製造業の変化はあまり感じられないのが現状ですが、私共のお客様である会社では、医療分野に数年前から挑戦し、試行錯誤しながら現場に適した製品を世に出し、医大・総合病院では実用されていることお聴きました。これも地道な実践で成し得たことで有り、技術と結果は一気にはなかなか難しいと。しかし大事なことを伝えて下さっています。現場で何が起きているのかをしっかりと聞いて製品に繋げていく・・・。簡単でなかなか難しいことですが大事なポイント。当社も原点に帰り、5S活動から改善に向けて、技能士会の先生方の御指導の下「日々挑戦」を合い言葉に、取り組みを始めました。また経営士会の先生からも、再度教育という点から、営業活動の見直し提案を受けました。11月から本格的に営業と業務スキル向上を図って参ります。少しでもお客様のお役に立てるように、日々精進して参りますので、今後とも御指導またご鞭撻よろしくお願い致します。

本田技研工業の創始者 本田赤一郎の言葉を元に作製された「枠にはまるな」を手本に精進です。

「枠にはまるな。」自分の限界を、自分で決めていないか。過去の常識にしばられていないか。本来、人間は自由な存在だ。自由であるはずの人間が、自ら自由を手放してどうする。しょせん限界も常識も過去のもの。自由な創造を邪魔する過去など忘れてしまおう。新しい知恵で困難に立ち向かえ。時代の先端をゆけ。今までの枠の中に、未来はないのだから。そう、僕たちはなんにでもなれる。僕たちは、どこへでもゆける。

